

参加校募集のお知らせ

第8回 六 横浜トリエンナーレ 野草：いま、 ここで生きてる

小学校のための スクールプログラム

3年に一度開催される国際的なアートの祭典「第8回横浜トリエンナーレ」の会期中、会場となる横浜美術館において「小学校のためのスクールプログラム」を実施いたします。世界中から集まる作品との出会いや対話を通して、今後子どもたちに求められる「生きる力」の育成の場として美術館をご活用いただければ幸いです。つきましては裏面の要領をお読みいただき、ぜひお申込みください。



お申込みの流れ

3月18日まで

(1) 申込フォームから申込み

締切 2024年3月18日(月)
(申込多数の場合は抽選となります)



フォーム https://f.msgs.jp/webapp/form/17066_kgz_524/index.do

3月25日頃

(2) 参加校決定通知

ご登録のメールアドレス宛に結果をお知らせします

4月以降、プログラム1か月前

(3) 事前下見、打合せ

担当教員の方と会場を見学し、当日のプログラムについてご相談します

- ① 主な鑑賞作品を決めます
- ② 当日の体験アクティビティを決めます
(例)・素材に触れる ・みて、言葉にするゲーム など
- ③ 当日の滞在時間に合わせてプログラム内容をご相談します

5月

(4) プログラム当日

ウォームアップとなるアクティビティを体験した後、鑑賞に出発します

※プログラム終了後、引き続きアトリエを昼食会場としてご利用いただけます

- ※美術館でのルールやマナーも事前にご確認ください
- ※鑑賞後の事後授業に繋げるための授業題材のご提案も可能です
- ※当日の鑑賞作品は事前下見でご相談します

- 対象：横浜市内の小学校 4、5、6年生の1学年（最大3クラスまで）
- 日程：2024年5月14日(火)、15日(水)、17日(金)、21日(火)、24日(金)
- 時間：10:00～12:00の間
- 参加費用：無料
- 応募方法：横浜美術館の申込フォームにてお申込みください。

https://f.msgs.jp/webapp/form/17066_kgz_524/index.do
※左上のQRコードから申込フォームにアクセスできます
(★応募多数の場合は抽選となります)

- 申込締切：2024年3月18日(月) 締切
※結果は締切後1週間以内にお知らせします
- 会場：横浜美術館 展示室、アトリエ
※見学対象は横浜美術館会場のみとします

■プログラムの特徴

- エデュケーターと共に、横浜トリエンナーレ会場での出品作品を鑑賞します
- 自分なりの見方で作品と向き合い、考える力を育む場となります
- 特定の解がない作品に対する互いの感想を共有することで、同じだったり異なったりするそれぞれの考え方に目を向ける機会となります
- 図工・美術に限らず、社会や国語など教科横断的な視点で当プログラムを活用していただけます

お問合せ：

横浜美術館 教育普及グループ
〒220-0012 横浜西区みなとみらい3-4-1
TEL045-221-0315 FAX045-221-0317
<https://yokohama.art.museum/index.html>

2024年3月15日(金)–6月9日(日)
開場時間：10:00–18:00 (入場は開場の30分前まで)
6月6日(木)–9日(日)は20:00まで開場
休場日：毎週木曜日(4月4日、5月2日、6月6日を除く)
<https://www.yokohamatriennale.jp/2024/>

第8回 横浜トリエンナーレ 野草：いま、こゝで生きてる

本展のテーマ「野草」は、1927年に中国の小説家、魯迅が発表した詩集『野草』からとられています。魯迅は革命の激動期において、絶望の中に小さな希望を見出そうとする自らの姿を、無防備でありながらたくましく生きる野草に例えました。環境破壊や戦争、経済格差や不寛容——現代的な諸課題に向き合い、多くの人が生きづらさを感じている現在の状況は、魯迅の時代に重ね合わせることができるかもしれません。本展はこうした状況下でたくましく生き抜こうとするひとりひとりの姿に目を向け、国内外67組のアーティストの作品を展覧いたします。